

こころに吹く風は…<カウンセリングルーム便り>



元気いっぱい、楽しい夏を過ごすことができましたでしょうか。 「お帰りなさい！」
教室に園庭に、子どもたちの声が響きわたり、いよいよ2学期のスタートです。運動会にお遊戯会、楽しい行事のその中に「輝く笑顔」がたくさん見られますように。大人も子どもも一緒に「元気に」過ごせますように。

どんな大人になってほしいか 「のびのび子育て 6月号より」

子どもには、こんな大人になってほしい。人に優しい、素直で正直、お友達もいる。
それから？ 計算が速い？ピアノが弾ける？スポーツもできる？
私はつい周りの子と比べてしまう。君が生まれたとき、ただ君が元気ならいいと思っていたはずなのに、私は少しずつ変わってきてしまったのかな。
今日、君が言った。「ママ、元気って、立派だよね！」
そうだった、そうだった！元気って、本当に立派でありがたいことだよね。
「元気でありがとう。」って、心から思えたよ。

子どもと笑顔で向き合うための3か条

～ <特集> お母さんが笑うほど、頭のいい子に育つ～

- その1 「子ども流」を認めよう。
子どもが思い通りに動いてくれない時、不機嫌な顔をしてしまいがち。そうした行動も子どもの個性だと思えば、おのずと笑顔が増えていきます。
- その2 「今できなくてもOK」と考えよう。
子どもに考えさせる言葉をかけながら、できるようになるのを待ちましょう。そしてできるようになったらほめてください。子どもの成長には個人差があるので、「今できなくても大丈夫。」と楽観的に考え、長い目で見守ることが大切です。
- その3 頑張りすぎない
おかずが1品少なくても、洗濯機を回すのが1回減ってもいいのです。少しおおらかに考えましょう。家事で多少の手抜きはOK。笑顔でいることの方が子どもにとっても自分にとってもプラスなのです。

★ カウンセリングルームをどうぞお気軽にご予約ください。一緒に子ども達の笑顔をつくっていきましょう。